

参考資料

平成22年1月

福岡市保健福祉局保健医療部
保険年金課 国保指導課

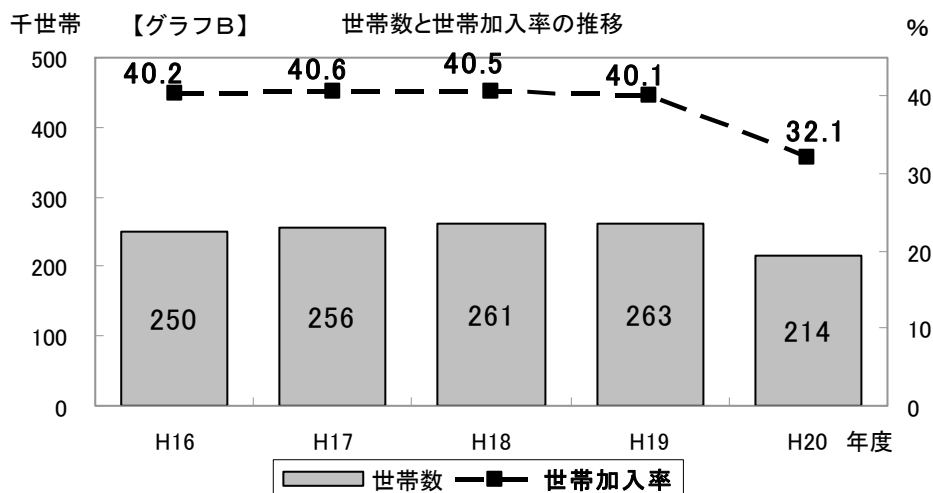
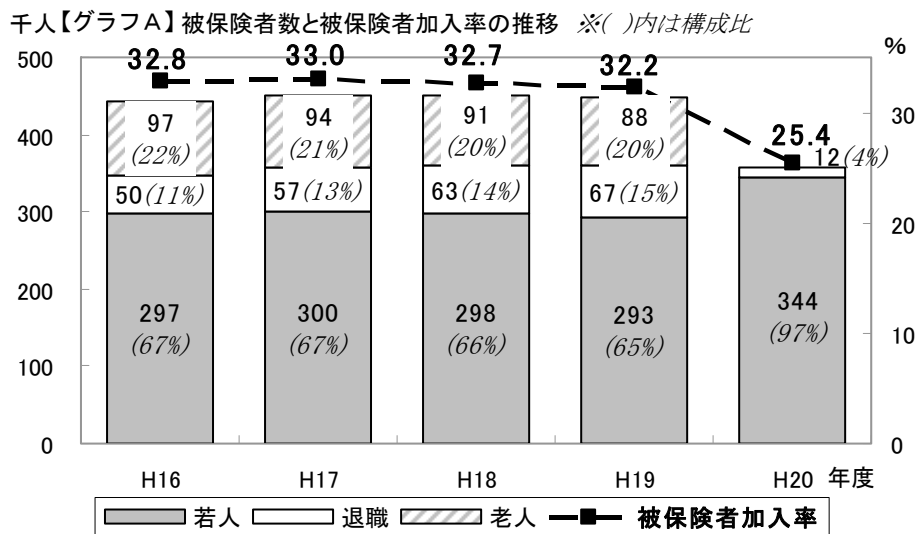
運営状況

1 国民健康保険被保険者の状況

(1) 被保険者数・世帯数の推移

被保険者のうち、老人は平成14年10月から対象年齢が5年間で段階的に70歳以上から75歳以上に引き上げられたため減少し、若人は少子化等の影響により減少傾向、退職被保険者は、団塊世代が国保へ加入する年齢になってきたことなどから19年度まで大きく増加しています。(65歳以上は19年度末で制度廃止)

20年度に被保険者数、世帯数、加入率が大きく減少しているのは、75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に移行したことによるものです。

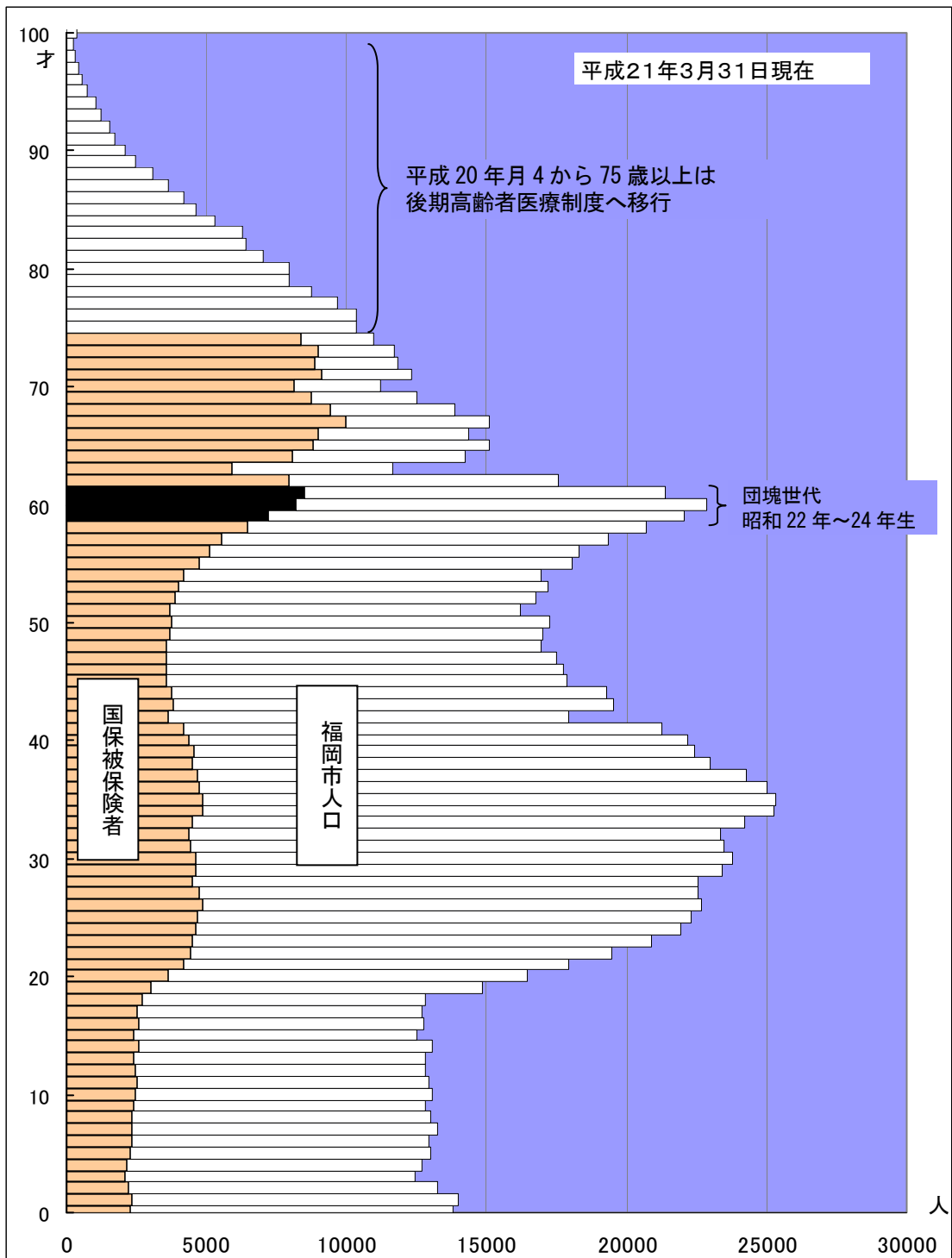


若 人：退職、老人に該当しない被保険者
 退 職：厚生年金や各種共済組合などの年金を受けられる被保険者で、加入期間が20年以上、もしくは40歳以降10年以上ある人とその扶養家族
 (平成20年4月～65歳以上については制度廃止)
 老 人：老人保健医療受給対象者
 (平成14年10月～対象年齢が5年間で段階的に70歳以上から75歳以上に引き上げ。
 平成20年4月～後期高齢者(長寿)医療制度へ移行)

年齢別加入状況を見ると、年齢が高いほど国保への加入割合が高くなり、65歳から69歳は約65%、70歳から74歳は約75%が国保被保険者です。

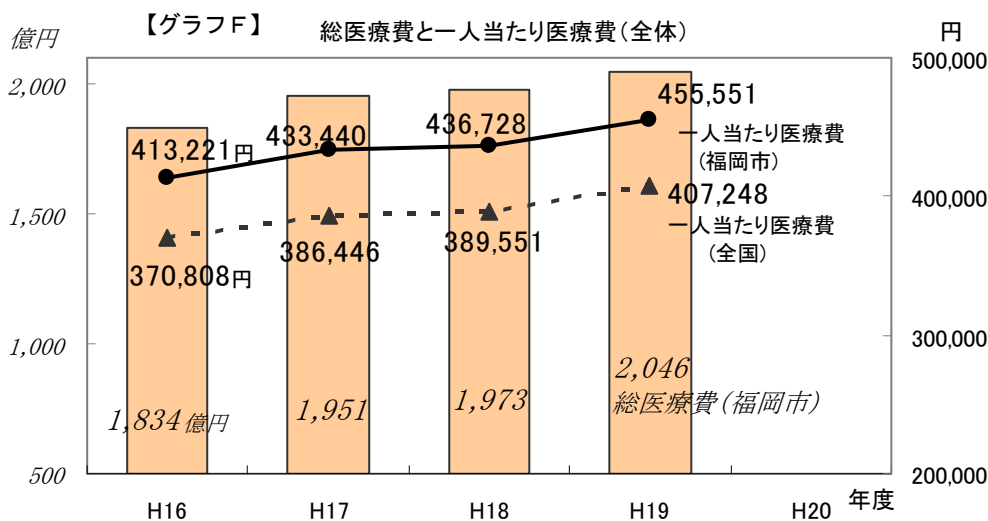
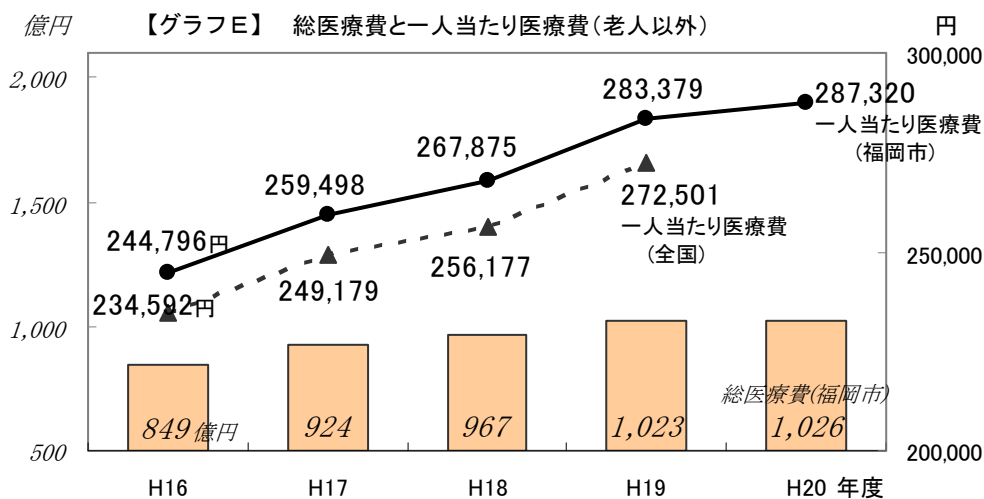
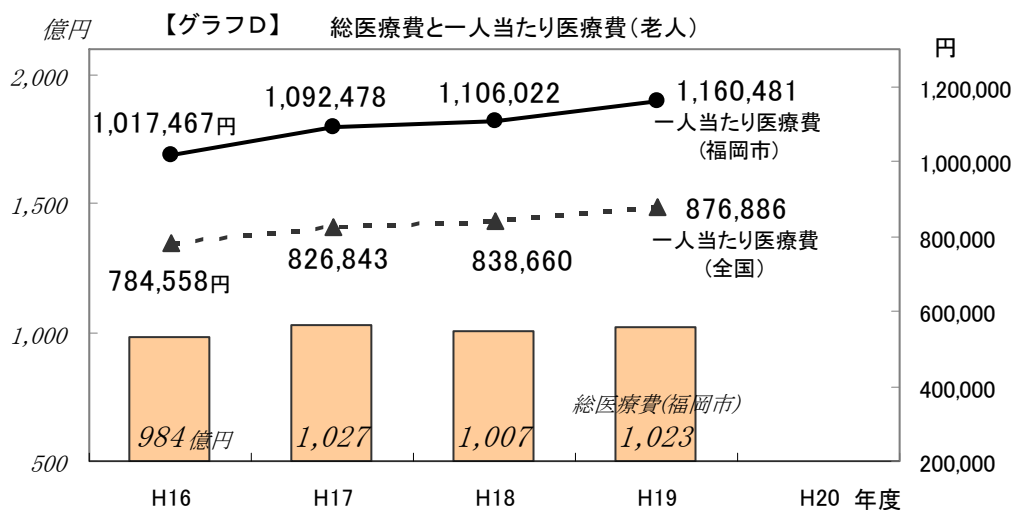
今後、団塊世代の高齢化に伴い高齢化が一層進展することが見込まれます。

【グラフC】年齢別加入状況



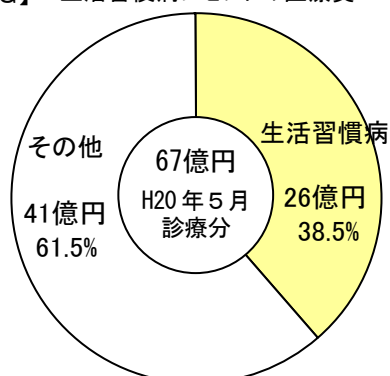
(2) 医療費の推移

高齢化の進展や医療技術の進歩などにより、医療費は年々増加し、一人あたり医療費は全国の国民健康保険の平均と比較して高い状況が続いています。



また、医療費の内訳を疾患別で見ると生活習慣病に関連した疾患が全体の約4割を占めており、特に50歳以上でその割合が高くなっています。

【グラフG】 生活習慣病レセプトの医療費



平成20年5月診療分

(単位:千円)

年齢階層	費用額								
	全レセ状況			生活習慣病レセ状況					
	入院	入院外	入外計	入院		入院外		入外計	
費用額				占有率	費用額	占有率	費用額	占有率	
0～29歳	211,005	411,444	622,449	16,010	7.6%	19,520	4.7%	35,530	5.7%
30～39歳	210,578	246,392	456,970	37,781	17.9%	41,716	16.9%	79,497	17.4%
40～49歳	258,442	271,221	529,663	63,721	24.7%	86,284	31.8%	150,005	28.3%
50～59歳	546,311	539,331	1,085,642	206,888	37.9%	241,078	44.7%	447,966	41.3%
60～69歳	1,103,566	1,170,477	2,274,043	497,912	45.1%	551,126	47.1%	1,049,038	46.1%
70～74歳	850,346	883,686	1,734,032	413,171	48.6%	406,230	46.0%	819,401	47.3%
小計	3,180,249	3,522,551	6,702,800	1,235,484	38.8%	1,345,954	38.2%	2,581,438	38.5%
40～74歳(再掲)	2,758,665	2,864,715	5,623,380	1,181,693	42.8%	1,284,718	44.8%	2,466,411	43.9%

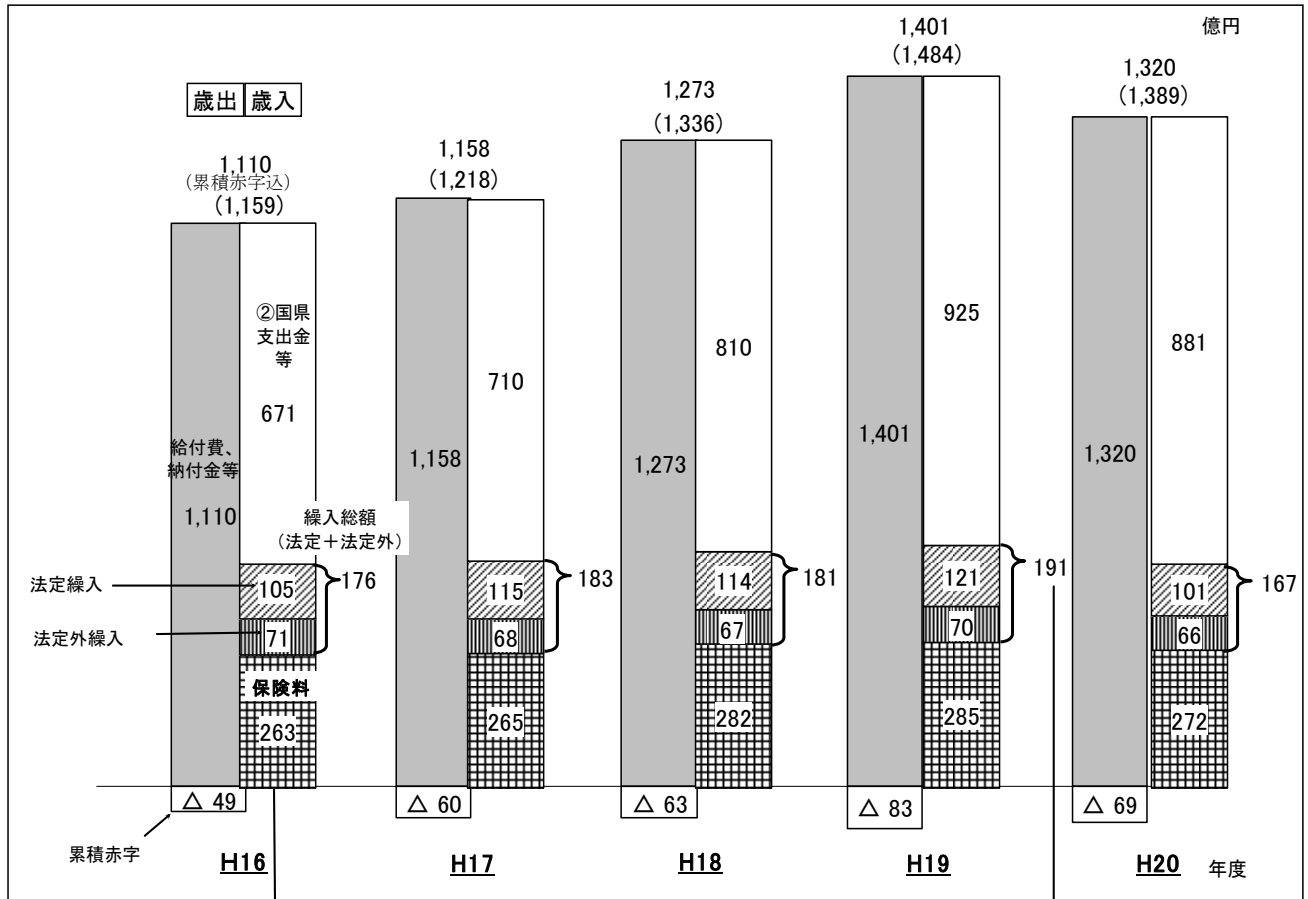
2 国民健康保険特別会計の財政状況

(1) 歳出歳入の推移

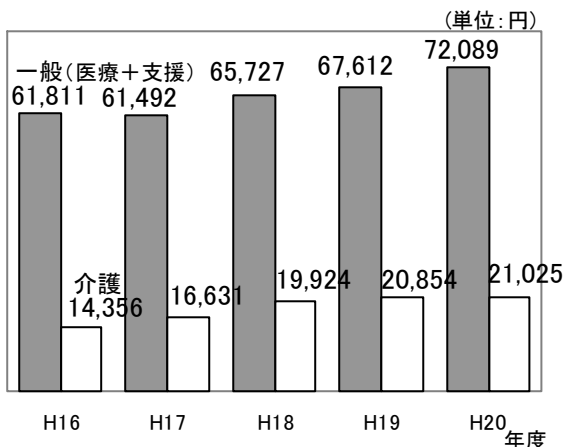
歳出の給付費、納付金等のうち約 75%は、被保険者の医療費を始め後期高齢者の医療費に充てられる支援金等、医療費のための支出です。

また、財源となる収入は、国民健康保険が被用者保険における事業主負担がないこと、被保険者に低所得者層を多く含むこと等から、国県等の公費の割合が高く、一般会計からも毎年多額の繰入が行われ、保険料の割合は2割程度となっています。

【グラフH】 歳出歳入の推移

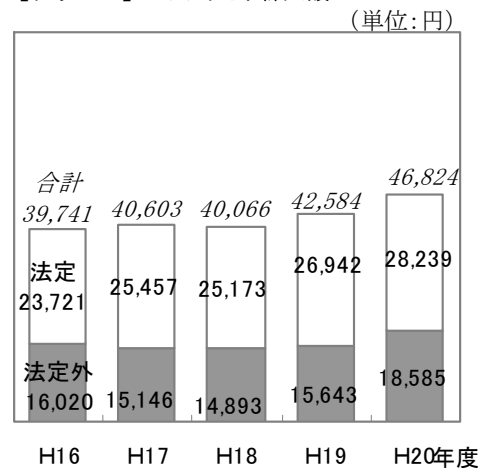


【グラフI】 一人当たり保険料収入額 (一般、介護)



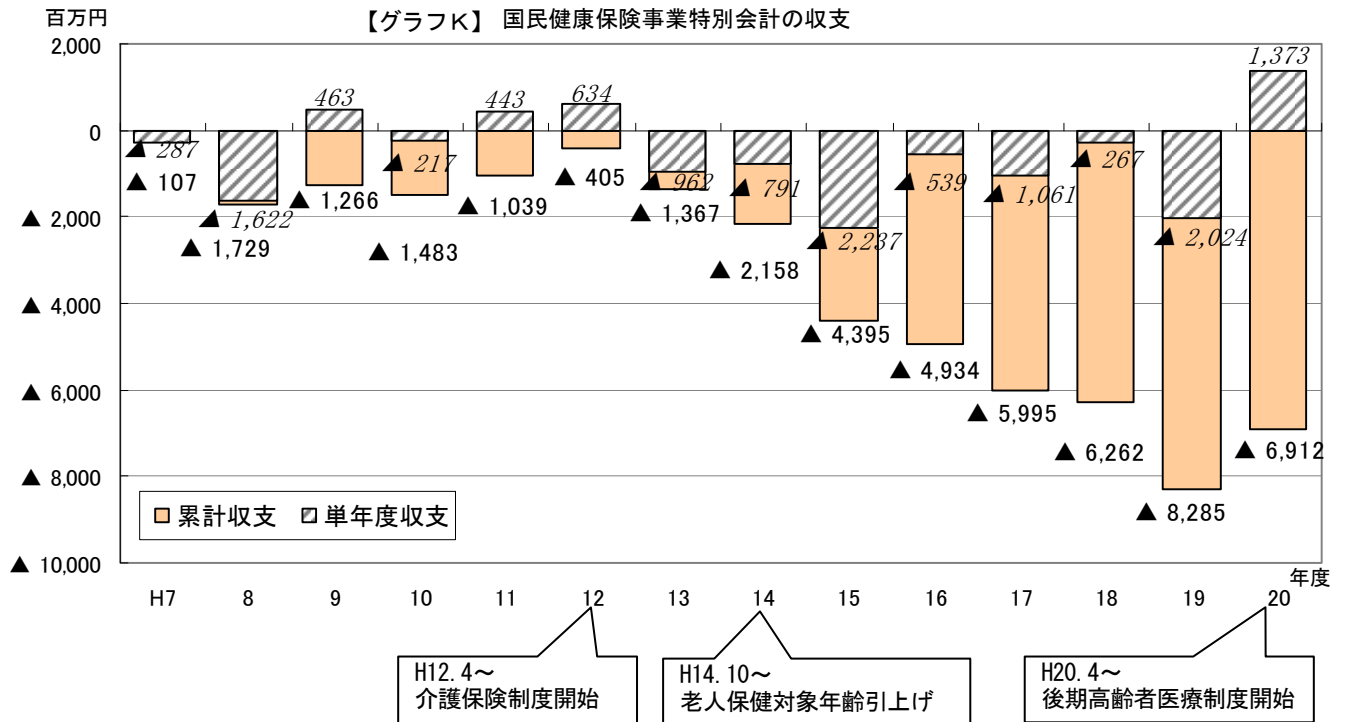
※介護は、40歳以上65歳未満の人(介護保険の第2号被保険者)の一人当たり額

【グラフJ】 一人当たり繰入額



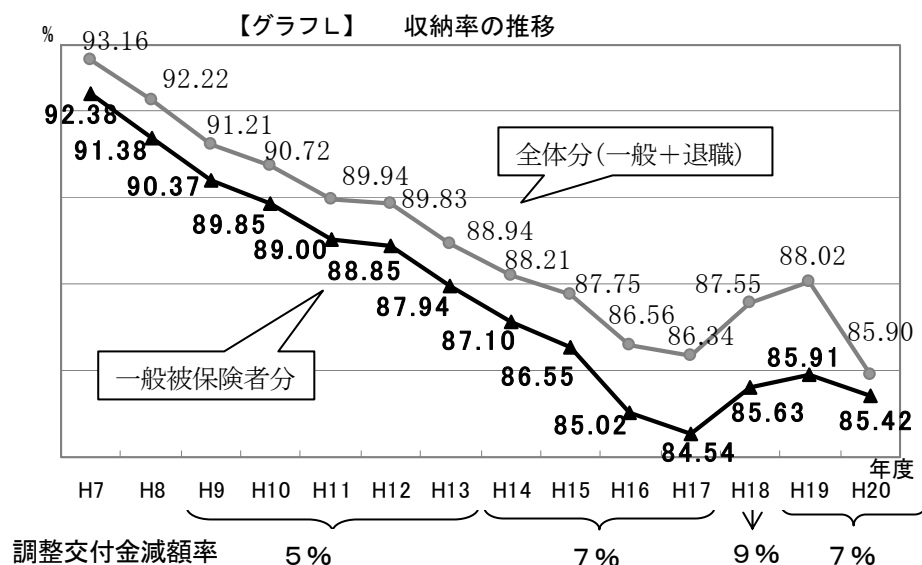
(2) 収支の推移

平成7年度以降、歳出が歳入を上回る状況が続いており、収入不足分を翌年度予算から繰上充用を行っています。



赤字の主な要因は、保険料収納率の低迷が続いていることです。保険料収納率は、平成8年度以降低下を続け、翌年の9年度からは国の調整交付金が減額されています。収納率の低下は、保険料収入の減少だけでなく国庫支出金も減少するため、収支に大きな影響を及ぼします。

収納率向上のため、コンビニ収納の実施や納付相談体制の整備、滞納整理の強化など様々な収納対策を講じており、18年度から収納率が上昇に転じたところです。(20年度は後期高齢者医療制度開始の影響により低下。)

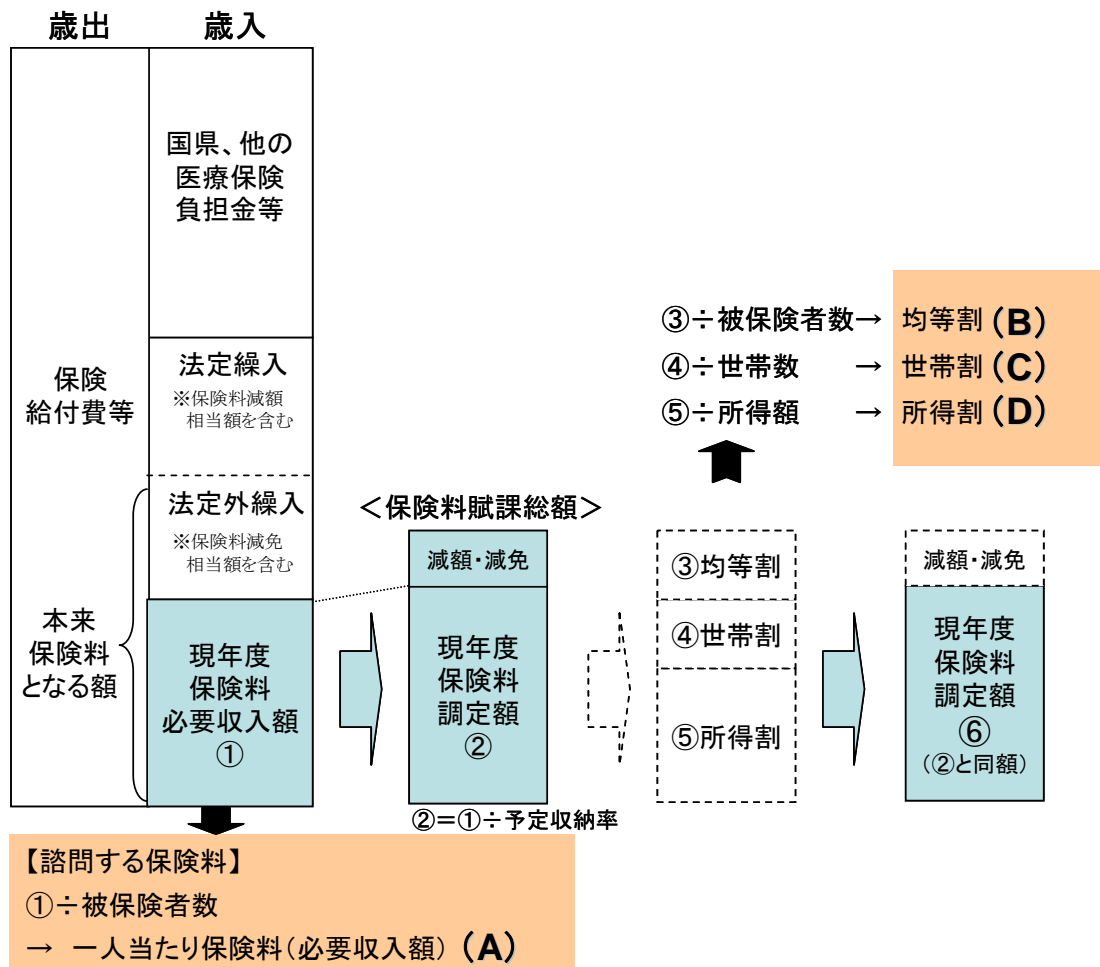


保険料関係

1 保険料の構成

図において、

- ・ 福岡市国民健康保険運営協議会にて諮問する保険料・・・一人当たり保険料(必要収入額) (A)
 - ・ 保険料率・・・均等割、世帯割、所得割 (B、C、D)
- となります。



2 保険料の推移

加入世帯すべてが負担する一人あたりの均等割保険料と一世帯あたりの世帯割保険料について、低所得世帯に配慮し引上げを抑制しています。

所得割料率は、18年度に賦課方式を市民税方式から所得比例方式に変更したことに伴う経過措置の影響等により、年々減少しています。

保険料率及び賦課限度額

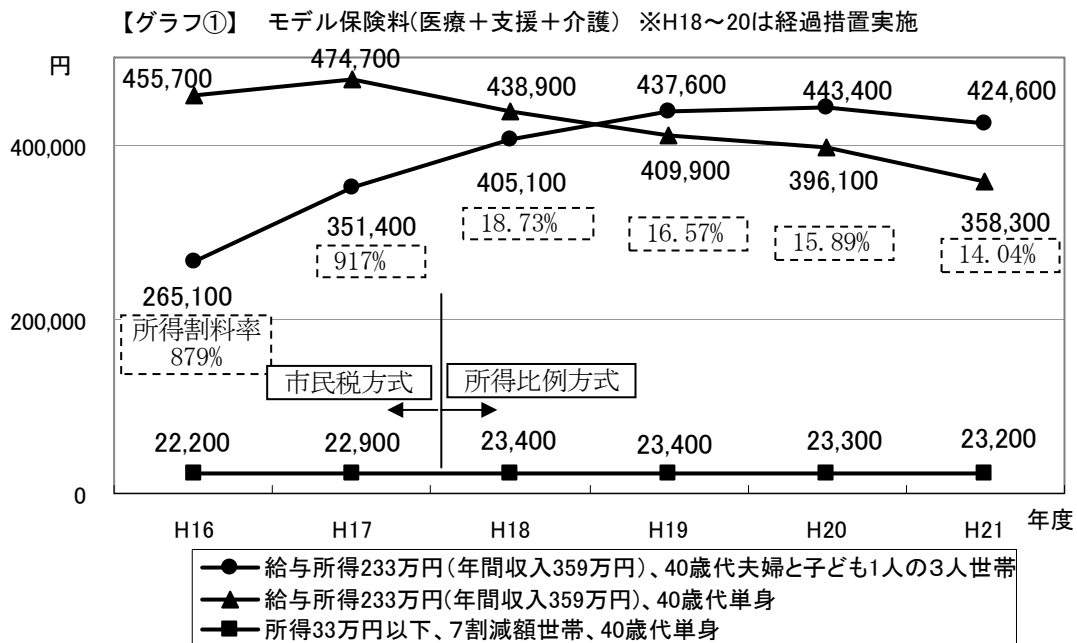
年度	医療分 ※20年度以降は支援分を含む。				介護分			
	料 率			賦課限度額 (円)	料 率			賦課限度額 (円)
	所得割(%)	均等割(円)	世帯割(円)		所得割(%)	均等割(円)	世帯割(円)	
16	783	29,738	32,562	530,000	96	6,613	5,406	80,000
17	793	29,738	32,562	530,000	124	8,006	6,484	80,000
18	14.88	28,735	33,217	530,000	3.85	9,051	7,551	90,000
19	13.01	28,735	33,217	560,000	3.56	9,051	7,551	90,000
20	12.49	28,735	33,217	590,000	3.40	9,001	7,429	90,000
21	11.25	28,735	33,217	590,000	2.79	8,623	7,163	100,000

注) 所得割料率

17年度まで市民税方式(算定基礎：当該年度の市民税額)

18年度から所得比例方式(算定基礎：前年中の所得から基礎控除額を除いた額)

実際に各世帯が負担する保険料は、家族構成や所得に応じて異なりますが、賦課方式を変更したことにより、単身世帯の保険料が減少する一方、夫婦と子どもがいる世帯で保険料が増加しています。



※賦課方式の変更に伴う経過措置

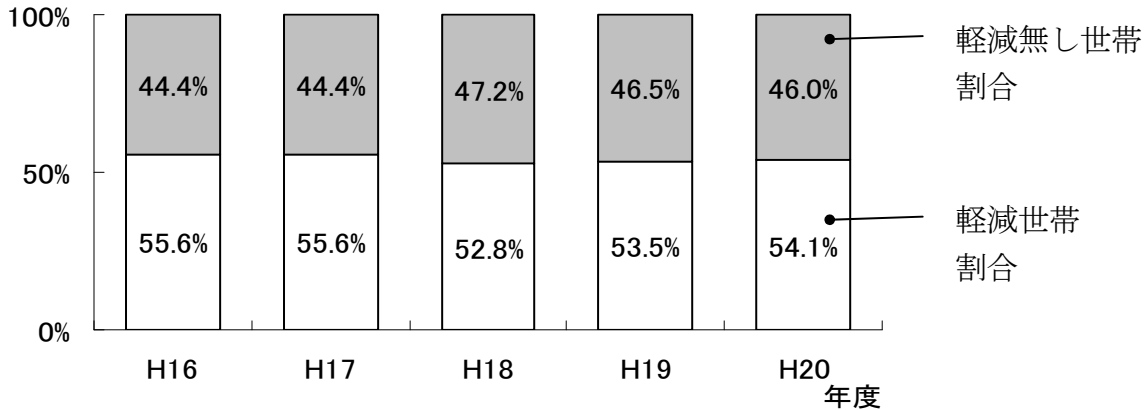
平成18年度に所得割保険料の計算式を市民税方式から所得比例方式に変更したことにより、急激に保険料負担が増えないように、所得割を「所得比例方式(新)」と「市民税方式(旧)」で計算比較し、「所得比例方式(新)」の方が高くなる世帯については、その所得割差額を軽減する措置。(軽減割合は、平成18年度は差額の4分の3、平成19年度は差額の4分の2、平成20年度は差額の4分の1※平成20年度で経過措置終了)

3 国保世帯の所得状況

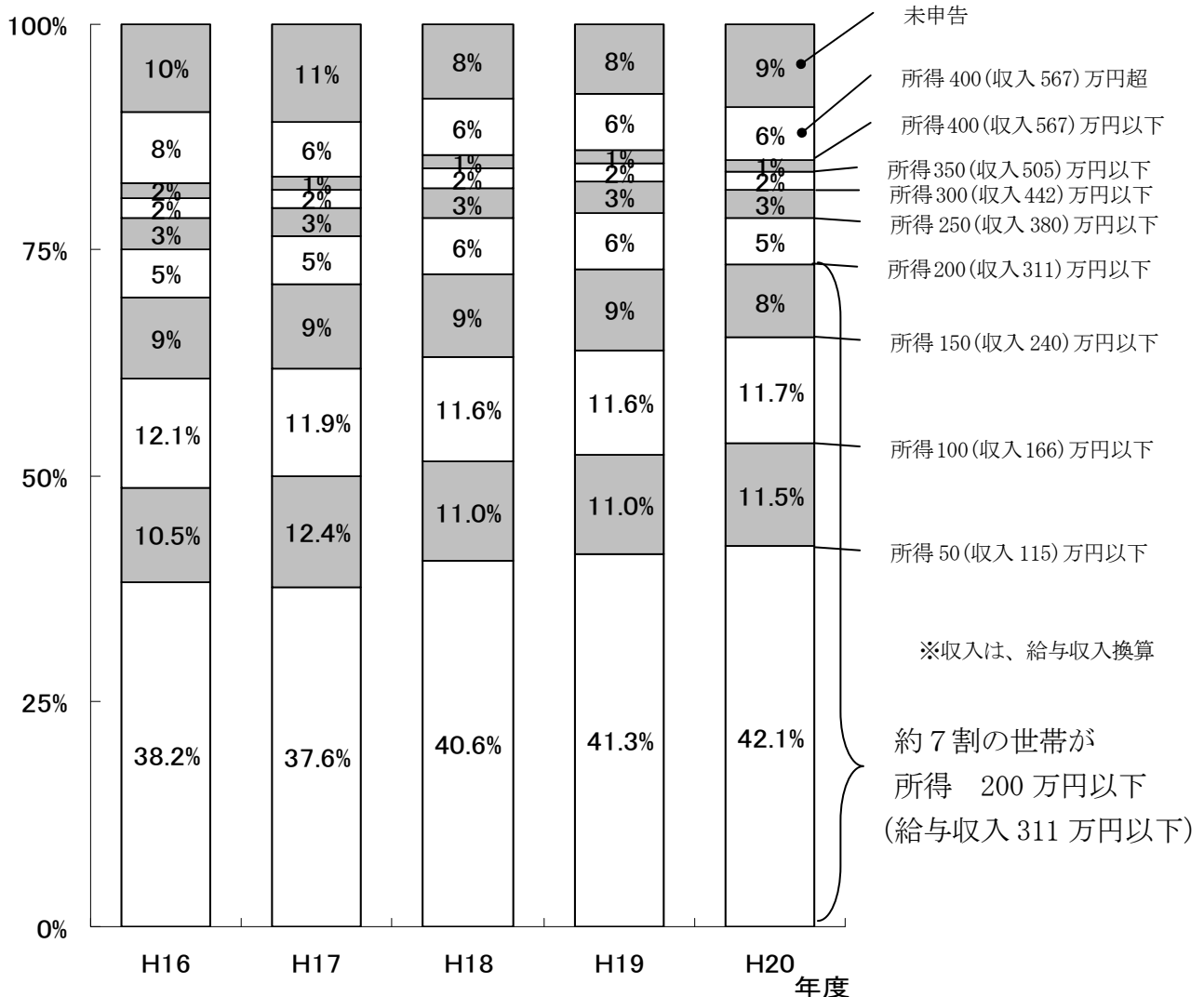
国保加入世帯は低所得世帯が多く、半数以上の世帯が均等割・世帯割の保険料減額(法定7割、5割、2割)基準に該当します。

また全世帯の約7割の世帯は所得200万円(収入額311万円)以下が占めています。

【グラフ②】 国保世帯に占める保険料減額世帯割合 ※各年度5月末現在

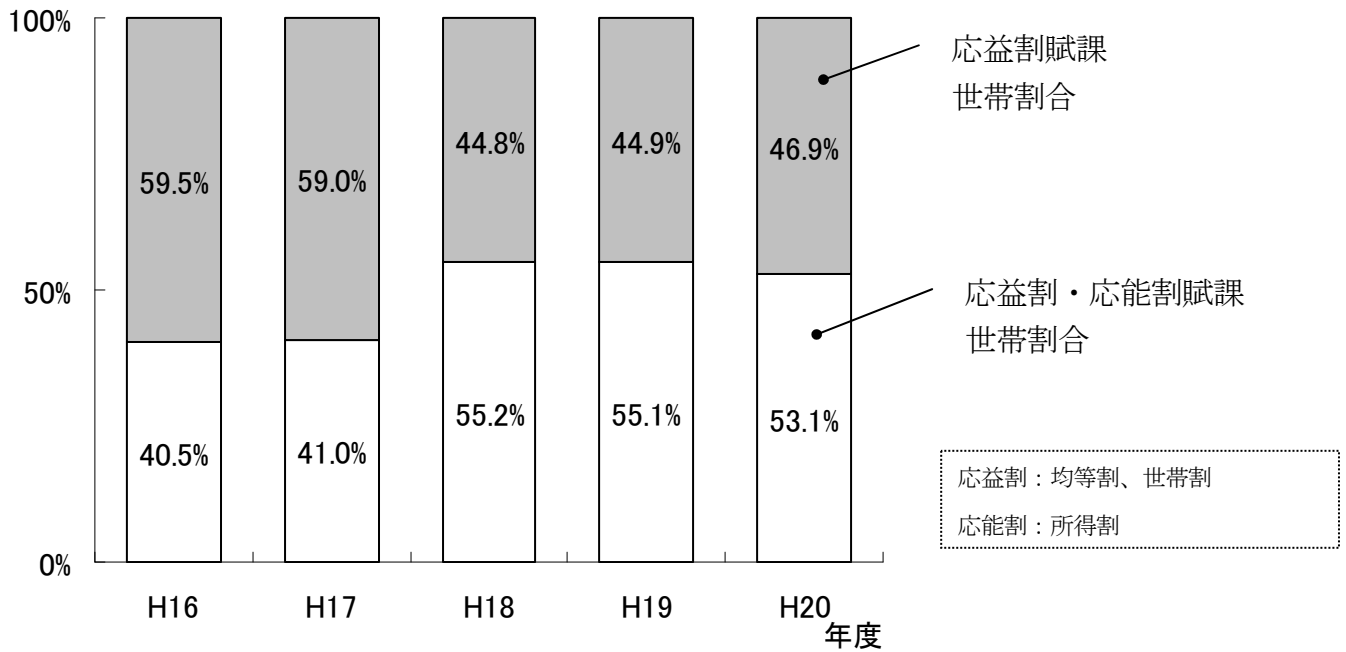


【グラフ③】 国保世帯所得分布状況 ※各年度7月1日現在



応能割を負担する世帯の割合は平成 20 年度で 53.1%となっています。この割合が増えれば所得割料率が下がります。

【グラフ④】 国保世帯に占める応益割・応能割賦課世帯の割合 ※各年度6月末現在



17 年度まで市民税方式(算定基礎：当該年度の市民税額)

18 年度から所得比例方式(算定基礎：前年中の所得から基礎控除額を除いた額)

福岡市国民健康保険事業主要統計

年度	被保険者数 人	国保特会財政収支			医療費		医療給付費		老健拠出 金 ※後期支援 金含む 億円	保険料 (現年分) 医療+ 支援 億円	一般会計 繰入金		一人あたり医療費		一人あたり保険料		一人あたり 繰入額 円
		歳入 億円	歳出 億円	差 億円	老人 含む 億円	一般+ 退職 億円	一般+ 退職 億円	老人 含む 円			老人除く 円	医療+ 支援 円	保険料の医 療費に占め る割合 %	円	円		
									円	円						円	円
H12	390,870	907	911	△4	1,580	692	549	265	264	149	404,289	229,794	70,347	31%	38,210		
H13	405,037	964	977	△14	1,640	713	567	313	275	158	404,830	230,334	71,996	31%	39,118		
H14	420,739	959	981	△22	1,614	664	530	342	278	161	384,714	208,154	72,206	35%	38,394		
H15	434,959	1,028	1,072	△44	1,747	782	621	322	281	167	402,622	234,024	72,206	31%	38,575		
H16	444,297	1,110	1,159	△49	1,834	849	686	309	289	176	413,221	244,796	72,206	29%	39,741		
H17	450,659	1,158	1,218	△60	1,951	924	746	293	296	183	433,440	259,498	72,206	28%	40,603		
H18	451,714	1,273	1,336	△63	1,973	967	790	283	321	181	436,728	267,875	72,206	27%	40,066		
H19	448,940	1,401	1,484	△83	2,046	1,023	851	298	331	191	455,551	283,379	72,206	25%	42,584		
H20	356,693	1,320	1,389	△69	1,026	1,026	851	190	203	167	287,320	287,320	73,999	26%	46,824		